

平成28年6月定例会提出予定案件概要

名古屋港管理組合

《日 程》

| | | |
|-------|---------------|---------|
| 議員総会 | 平成28年5月31日(火) | 10時予定 |
| 定例会 | 平成28年6月7日(火) | 14時予定 |
| 特別委員会 | 平成28年6月8日(水) | 9時30分予定 |

平成 2 8 年 6 月 定 例 会 提 出 予 定 案 件

| 種 別 | 件 数 | 番 号 | 件 名 | 内 容 |
|-----|-----|----------|--------------------------------------|---|
| 同 意 | 3 件 | 第 2 号同意案 | 副管理者選任の同意について | 名古屋市副市長 |
| | | 第 3 号同意案 | 監査委員選任の同意について | 組合議会議員 |
| | | 第 4 号同意案 | 監査委員選任の同意について | 名古屋市監査委員 |
| 報 告 | 2 件 | 第 1 号報 告 | 平成 2 7 年度名古屋港管理組合一般会計予算の繰越しの報告について | 大江ふ頭岸壁整備費始め 1 1 件 翌年度繰越額 756,093,488 円 |
| | | 第 2 号報 告 | 平成 2 7 年度名古屋港管理組合理立事業会計予算の繰越しの報告について | 西部第 1 貯木場埋立整備事業始め 2 件 翌年度繰越額 186,746,400 円 |

(その他説明資料)

1 国際競争力の強化に向けた取組について

(1) コンテナ取扱機能の強化

東南アジア航路の船舶の大型化等の対応として、飛島ふ頭東側コンテナターミナル（NCBコンテナターミナルR1、R2）の水深15m化・耐震化が平成28年度に新規事業採択され、早期完成に向けて取り組むとともに、東航路の水深16mへの増深は、平成28年度に完了予定である。特例港湾運営会社の名古屋港埠頭株式会社（以下「埠頭株」という。）は、更なる利用者へのサービス向上を図るため、飛島ふ頭南コンテナターミナルにおいて、港湾運営会社に対する無利子貸付の制度メリットを活用した荷役機械の大型化の取組を進めていく。コンテナターミナルの一体的な運営を推進させるとともに、制度のメリットを享受するため、埠頭株と名古屋コンテナ埠頭株式会社が平成28年4月1日に合併した。さらに、伊勢湾で一つの港湾運営会社となる期限（平成29年9月）に向けて、埠頭株と四日市港の特例港湾運営会社（四日市港埠頭株）との経営統合について、関係者と検討を進めている。

(2) 産業立地の促進に向けた取組

弥富ふ頭第1貯木場埋立地及び飛島ふ頭第2貯木場埋立地の分譲地を公募し、全体約20.6haのうち約5.1haについて2社の分譲予定者を選定した。今後は平成28年8月頃の土地の引き渡しを予定しており、応募の無かった分譲地については、着実な売却に向けて引き続き取組を進めていく。

(3) 国際バルク戦略港湾の取組

新食糧コンビナート用地の埋立計画に係る護岸整備費が増加する試算となり、また、穀物輸入を取り巻く動向や社会経済情勢は、TPPが署名されるなど変化していることから、平成28年度は、平成27年度に引き続き調査費の計上を見合せ、十分に関係者の意見を聞きつつ、これらの情勢変化や企業動向、土地需要などを見極め、全体行程の見直しや事業費削減などを含めた計画内容の検証を行っていく。

(4) その他

完成自動車取扱機能の強化（金城ふ頭における完成自動車取扱機能の集約・拠点化、新規耐震強化岸壁の整備・保管用地の造成及び既設84号岸壁の増深など）、道路ネットワークの形成（鍋田ふ頭進入道路4車線での供用開始（平成28年3月）、名古屋環状2号線（西南部・南部）や西知多道路などの広域幹線道路網について国に整備促進の要望）

2 名古屋港の防災対策

ハード対策として、防潮壁の液状化対策、堀川口防潮水門及び中川口通船門の耐震補強の実施、大江ふ頭の耐震強化岸壁の耐震機能の維持・強化対策と金城ふ頭の耐震強化岸壁の調査・設計を実施。ソフト対策として、名古屋港港湾機能継続計画（名古屋港BCP）で掲げる港湾機能の回復目標の達成に向けた取組を推進。伊勢湾港湾機能継続計画（伊勢湾BCP）が平成28年2月に策定され、同年3月に国、港湾管理者及び関係業界団体において包括協定を締結。また、名古屋港防災情報サイトで本港に係わる防災情報を広く提供し、災害発生時の的確な行動支援を図っている。

H33年

H29年

完了済

3 ガーデンふ頭にぎわい創出特別委員会（仮称）説明事項（ガーデンふ頭のにぎわい創出について）

(1) ガーデンふ頭の状況

ア 名古屋港水族館

平成27年度の入館者数は、開館以来4回目の200万人を超える約205万人に達し、平成26年度と同じ全国第3位となった。

イ 南極観測船ふじ

平成28年度は、南極観測船ふじの開館30周年記念事業として館内リニューアルを予定している。

ウ イベントの開催

平成27年度は、ガーデンふ頭で「海の日名古屋みなと祭」、民間団体による「名港水上芸術花火2015」及び「ISOGAI花火劇場 in 名古屋」と、計3回の花火大会が開催されたとともに、冬の閑散期には「ルミポートファンタジー2015」を開催した。

エ 練習船・クルーズ船等の入港状況

練習船（帆船・汽船）について、平成27年度は、青雲丸（8月）、日本丸（11月）、大成丸（11月）及び銀河丸（1月）が入港し、各船で行われた船内一般公開等の停泊中の行事には、多くの来港者が訪れた。クルーズ船については、平成27年は36隻がガーデンふ頭を利用して

いる。

(2) ガーデンふ頭再開発

ア ふ頭全体の開発

ガーデンふ頭のにぎわいの創出を図るため、ふ頭全体を再開発検討エリアとして捉え意向調査を実施し、平成26年度に東地区を対象とした公募を行ったが、提案事業者の選定後、辞退の申し出があり、事業予定者の決定には至らなかった。

今後も、ふ頭全体の機能の配置案を取りまとめるなど事業化に向け検討を進めていく。

イ ひがし広場の暫定利用

ふ頭全体を再開発するまでの間も暫定利用によるにぎわいの創出を図るため、平成28年4月、ひがし広場Aにおいて新たな公募により決定した事業予定者と公有地賃借権設定契約（平成31年3月31日までの一時使用）を締結した。

ひがし広場Bについては、現在、随時募集を行っており、事業予定者が決定するまでの間、ひがし広場Cと合わせて7月1日から一般開放していく。